

## 麻酔科後期研修プログラム

### 当院麻酔科の特徴

当院麻酔科は、臨床麻酔のみならず、ICU入室患者の管理も積極的に行っています。手術患者の周術期管理をはじめとして、重症急性膵炎、呼吸不全、糖尿病性緊急症、中毒などの重症疾患の主治医となり、基本的に退院までサポートする姿勢をとっています。麻酔科としてのスタンスは当院では確固たるものがあり、他科の先生方とも十分な議論ができ、非常に働きやすい環境であることは間違いありません。

本来、麻酔科とは縁遠い栄養管理や抗菌薬の使い方、重症疾患の診断、治療についても主治医となって学ぶことができます。患者様との接触も多く、有意義な研修をお約束します。

### 研修目標

- 1年目
- ・臨床麻酔に必要な技術、知識を身につける
  - ・ICU入室患者の臨床麻酔を担当し、周術期管理を責任もってできるようになる
  - ・比較的病態が明確な重症患者の主治医となり、指導医の指導のもとで呼吸循環管理はもちろん、診断、治療を行う。
  - ・血液浄化法、人工呼吸器の操作を習得する。
  - ・地域の研究会などで、学術発表を行う。
- 2年目
- ・通常の臨床麻酔について、問題点と、それに対する戦略を作ることができる
  - ・ICU入室患者の主治医として、基本的な診断、治療方針を計画し、指導医の指導のもとで実践できる。
  - ・地方会で、学術発表を行う
- 3年目
- ・重症患者の臨床麻酔を担当し、問題点と、それに対する戦略を作ることができる
  - ・ICU入室患者管理については、2年目と同様の研修を行う。
  - ・救急外来来院の重症患者に対する処置、診療計画についてスタッフに的確な指示を行える。
  - ・中央会で、学術発表を行う。

所属可能な学会

- 日本麻酔科学会
- 日本集中治療医学会
- 日本ペインクリニック学会